（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	キャリアコンサルタント倫理綱領に基づき、相談者を国籍･性別･年齢･宗教･信条･心身の障害･社会的身分等により差別してはならないことを徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	経営者自身がパワハラ専門家として啓蒙活動を実施しているため、定義及びどのような言動･行動がハラスメントにあたるか周知徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	ワークライフバランスを重視しているため、家庭の事情（参観日･急病等）を優先している。 適正な労働時間の管理、長時間労働の防止に取り組み、長時間労働が発生した場合は、個々の裁量で勤務時間を調整可能としている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者の雇用が無いため非該当				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	業務中の運転事故防止のため、法定速度走行の厳守及び眠気を感じた場合、無理せず休息をとることを徹底している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施し、キャリアコンサルティングを実施している。また、個々にセルフケアに努めている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	キャリアコンサルタント資格取得者（男女共）、人材紹介会社等とのパートナーシップにより、女性･外国人･障がい者･高齢者･若年者等が、自らの進む道を定め活躍できるように努めている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･時代のニーズに合わせた能力開発のため積極的に研修受講を実施している。 ･保有資格にポイント制度や更新制度もあるため、常に新しい知識や実技を学んでいる。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	【予定】雇用増加の場合、パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備･対応を行う。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	･オフィス内は固定席を設けず、空席を自由に使用（フリーアドレス）し仕事が出来る環境になっている。 ･経営者自身が、笑いヨガリーダー資格を保有しているため、いつでも気分転換と身体のコリをほぐせるよう実施している。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	オフィス内で発生する廃棄物について指定の分別に即して的確に分別している。産業廃棄物の処分を委託する際は「産業廃物収集運搬業許可証」「産業廃棄物収集処分業許可証」を取得した事業者に委託している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	･水道･電気使用料を月別に把握している。 ･国際連合気候変動枠組条約で取り扱われる温室効果ガスの用途･排出源は弊社では取り扱いが無い。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	･省エネについては、クールビズやオフィス内消灯を実施している。 ･国際連合気候変動枠組条約で取り扱われる温室効果ガスの用途･排出源は弊社では取り扱いが無い。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質の取り扱いが無いため非該当			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	オフィスで購入する消耗品は「サスティナブル･ラベル」付きの商品の購入に努めている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	･コピー用紙の裏紙使用（機密事項記載以外）、会議のペーパーレス化を推進している。 ･プリンタトナーやインクのリサイクルを徹底している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	･飲料水については、オフィス内にウォーターサーバーを設置し発注個数で利用効率の改善に取り組んでいる。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】自社業務に効果的な環境マネジメント規格を調査し必要に応じて取得を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】自社ホームページに取り組みに関する情報公開を必要に応じて検討する。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	賃貸テナントで自社だけでは取り組み不可能のため非該当							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	オフィス内で使用するコピー用紙や備品（ティッシュペーパー等）は、FSC認証紙またはFSC認証ミックス紙を使用している。また、環境省が情報開示している環境ラベルが掲示されている製品の積極的購入を実施している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】汚職･贈収賄を禁止する方針の策定、社員への周知を行う。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】不正競争行為に関与しない方針の策定、社員への周知を行う。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	お取引先様企業及びお客様と基本契約･機密保持契約を締結し、知的財産保護を謳い保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･「個人情報保護方針」を定めホームページ等で公表し体制を整備している。 ･個人面談記録等は施錠付棚に保管し定期的に暗証番号を変更している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	･使用する製品が紛争鉱物不使用（コンフリクト･フリー）であることをホームページ等で確認している（Canon･SONY他）																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】調達時に出来る限り配慮規定を追加する					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	個の尊厳を侵してはならないこと、守秘義務とプライバシー保護の最大限の留意を徹底している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	常に資質向上に向けて絶えざる自己研鑽を行い、社会･経済･環境の動向や教育、生活の場にも常に関心をはらい、専門家としての専門性の維持向上に努めている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	一部の研修･セミナーでは、配布物を紙ではなくデジタルデータで提供している。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	採用難、離職率増加、女性活躍推進、障がい者雇用、SDGsや働き方改革の導入方法等、社会課題を解決するための人材育成研修･セミナー、コンサルティングを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	･長野県経営者協会、商工会議所･商工会、長野法人会等の各種団体に参加し、また、長野県男女共同参画課の事業受託や千曲市男女共同参画課評議員として活動を行っている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	社会福祉協議会への寄付や赤い羽根募金活動等の実施、地域活動に協賛している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	広報等のホームページ制作や印刷物などは地元業者を優先的に利用している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	･経営理念を明文化し経営者が理念を持ち、経営理念、経営目標を社員に説明･共有していると共に、理解浸透を目的とした勉強会の開催と掲示用パネルを一緒に作成している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	毎日のミーティングで法令順守(コンプライアンス)の重要性を発信している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	経営者自身が担当者として務めている																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	研修実施後アンケートや直接お客様の声をお聴きすることを通じ、ご意見･ご要望を把握し業務改善に努めている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	当社での重要なリスクは個人情報となるため、個人情報保護法における｢自己点検チェックリスト｣に基づき適正な管理を行い整備している。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	･CSRやSDGsの世界的動向を的確に把握し、自らも適切な対応に取り組むと共に、研修･セミナー、コンサルティングを通じ、お取引先様及び地域社会に提唱している。 ･SDGsを各企業に取り組んでもらうために、ゲームや導入コンサルティングを通じた啓蒙活動を行い、継続的に推進している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	自己や災害などの発生における営業中止判断基準を定め適切に運用している。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	設立10年未満のため現在は非該当								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【SDGs浸透支援】 ・SDGs導入研修の実施に取り組んでいる	・自社においてもSDGsの理解を深め実践するとともに、企業・行政・学校・個人に対してSDGsの取り組みを浸透させていく導入研修をゲーム（2030SDGsカードゲーム（認定ファシリテーター）／SDGsカードゲームＸ（認定ファシリテーター）／SDGsババ抜きカードゲーム／Go Goals）を通じ実施している。 ・各々が関わる領域の目標達成に向けて尽力できる人材の輩出のため、オーダーメイド型の人材育成研修を実施している。				4.4 4.7	5.5			8.5									17
【国外の水に関する社会貢献活動】 ・すべての人々が安全な水を利用できるように取り組んでいる	特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパンへの寄付を行っている。						6.1 6.2											

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）